

令和6年度 盛岡第一高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～白聖AP～

盛岡第一高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」目標達成状況
時間外在校等時間が月100時間以上の者
・ R3年度:0人、R4年度:0人、R5年度:0人
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・ R3年:13.4日、R4年:13.6日、R5年:16.2日

【定性的現状】

- 教職員の意識
・ 部活動休養日の年間平均週2日以上が取組が全教職員に徹底されている。
- 管理職のマネジメント
・ 45分授業導入による放課後の時間の確保、IT機器活用によりアンケート等の事務処理の負担軽減を図っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれていると感じている教職員 → 100%
- 質の高い授業をするために、授業の準備や自己研さんのための時間を確保できていると感じている教職員 → 100%
- 時間外在校等時間が月80時間を超える教職員 → 0人
- 年次休暇の平均取得日数 → 17日

【目指す姿】

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
- ・ 教職員が心身ともに健康で、やりがいをもって生き生きと働いている。
- ・ 教職員が家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 時間外在校等時間の削減の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。・ 週休日の部活動の振替および年次有給休暇を取得しやすい環境をつくる。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 業務負担の軽減に向け、業務のスクラップ・アンド・ビルドに取り組む。また、業務分担の在り方を検討する。・ Teams、Forms の利用、IT機器の効果的な活用を図り、会議等の資料のデジタル化を検討する。・ 定例職員会議において、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定し、教職員の意識改革を進める。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ PTA、同窓会業務について、関係団体と協議を進め、できる限り勤務時間内での対応となるように適正化を図る。・ 朝夕の勤務時間外、盆・年末年始等の学校閉庁日における留守番電話対応、保護者面談の勤務時間内での対応等について、文書、一高メール、HP等でお知らせし、保護者等の理解を図る。・ 次の①、②により年間平均週2日以上部活動休養日を設定することとする。 ① 週1日以上休養日を設定 ② 年間で104日以上休養日を設定
令和6年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 毎月15日の時点で月の時間外在校等時間が80時間超となることが見込まれる教職員に対しては、健康確保の観点から当該教職員への声かけや個別面談を実施する。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 学校運営協議会を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。